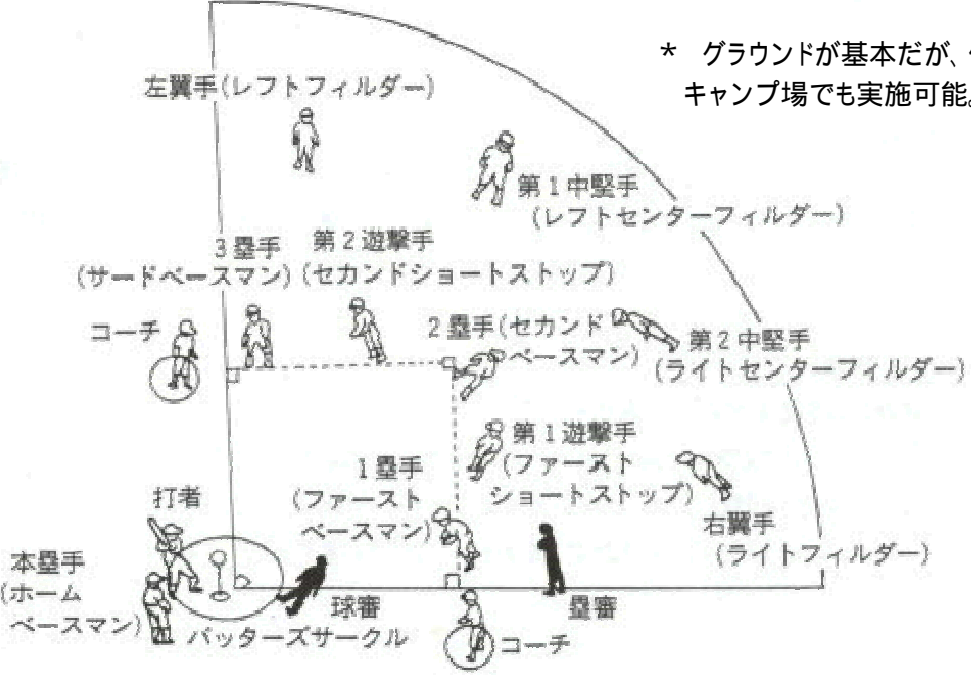


《ティーボール》	・バッティングティーと呼ばれる細長い台にボールを置き、止まっているボールをバットで打って遊ぶスポーツです。
写真	
起源	・1988 年、IBA (国際野球連盟) と ISF (国際ソフトボール連盟) が協力して、野球やソフトボールの入門期の子供たちのために考案された。日本においては、1993 年 11 月に日本ティーボール協会が発足し、アメリカのルールを参考にして、日本式ティーボールが考案された。
人数	・1 チーム 10 人～15 人 (両チーム同数が望ましい。)
場所	 <p>* グラウンドが基本だが、体育館でもキャンプ場でも実施可能。</p>
進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・守備位置と名称は上記の通り。他の選手はエキストラヒッター (打つだけの選手) となる。</li> <li>・本塁手は、打者が打撃を完了するまでバッターズサークルの外にいないといけない。</li> <li>・打者は審判が「プレイ」と宣言した後、バッティングティーにのったボールを打つ。</li> <li>・打撃時の軸足の移動は 1 歩まで。2 歩以上動かしたときはストライクとなり、ツーストライク後は三振。</li> <li>・ボールを打たないで、ティーを打ったときもストライクとなり、ツーストライク後は、三振。</li> <li>・ツーストライク後からのファールは、野球と違ってアウトとなる。</li> <li>・バントやブッシュバントは認めない。</li> <li>・走者は打者が打った後に離塁する。打つ前に離塁すればアウトとなる。盗塁は認められない。</li> <li>・スライディングは禁止で、行えばアウトとなる。</li> <li>・走者の 1 塁 2 塁 3 塁での駆け抜けは認める。(走者は塁ベースを駆け抜けた後、進塁の意思が無い場合には、野手にタッチされてもアウトにならない。)</li> </ul>
勝敗の決め方	<p>* 試合は、原則として次の 3 通りとする。</p> <p>2 チームが攻撃と守備に別れ、攻撃側の全打者が打撃を完了した時点で攻守を交代し、規定の回数 (イニング) を終えたとき、得点の多いチームが勝者となる。</p> <p>攻撃側の 7 名が打撃を完了した時点で攻守を交代する。残塁の走者は次回に受け継ぐ。(最終回の走者は、この限りではない。) 後は、1 番と同じ。</p> <p>第 3 アウトが成立することによって攻守を交代、後は 1 番と同じ。</p>
その他	・人数、ルールは集まった競技者に応じて変更して行ってもかまわない。(親子 2 人でプレー、友達 3 人～でのプレー、指導者と一緒にのプレー、12 人での三角ベースなど、様々な工夫が可能。)